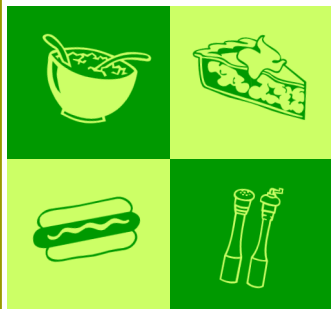


ナナミちゃんの農事通信

山梨県北杜市明野町で「雨と風と太陽と」
 「土と人情」に囲まれた。ナナミ
 ちゃんの「私、土の子」奮闘記

晴れた日は涼
 しい外縁側で
 06.26撮影



1 畑は今

連日の雨が一週間も続くとウンザリ、野菜の収穫や作業に支障をきたし、日照不足で生育に影響が出たり、湿気などで病気が発生するなど心配だらけですが、カカは毎日畑に出て収穫や管理など忙しく動いています。冷夏の予測もあり梅雨明けはいつに？

→白い「伯爵カボチャ」スープの食材になります。



↑07.01庭畑で毎朝取れるズッキーニ・キュウリにインゲン



←07.02お野菜宅配便、ズッキーニに長ネギ・モロヘイヤと人参・インゲン・オカヒジキ・キャベツや新ジャガ・新玉ネギ・ピーマン・キュウリ・レタス・ブルーベリーにカリカリ小梅漬。ナナミちゃんの農事通信 最新号も入れ発送をする。



葉を間引き カボチャの手入れ



←ブドウ棚は↑カボチャやキュウリ、→インゲンとゴーヤに占領され、ヤマブドウとゴールドキウイは隅に追いやられています。母屋庭畑のレタス類とキャベツは終わり、→ズッキーニだけは元気! です。



2 「ナナミちゃんのお宿」は？



ミニトマトにキュウリやナスなど夏野菜も取れ始め、ランチも夏色に変わりましたが、長雨でナスやトマトなど出来が悪く、「小暑」も過ぎ梅雨明けが待ち遠しく、天気予報を見ています。



↑破竹筍とガンモドキの煮物 味漬け半熟卵、刻みインゲン



←カカの野菜畑サラダ、レタス・インゲン ヤングコーン・ミニトマトが2色に炒めベーコンをのせて。

←ナスに肉種を詰め「はさみ揚げ」と素揚げ甘長唐辛子をそえ。

↑07.09ランチ全品、食後にコーヒーとデザート付き
 ←漬物はキュウリとナスの浅漬、カリカリ小梅漬。



カカの畑で収穫した丹波黒豆炊き込み「桜ご飯」

目次

- 1 畑は今 1
- 2 「ナナミちゃんのお宿」は？ 1
- 3 ジャガイモ掘り 2
- 4 田口勝の個展へ行く 2
- 5 七月のお味 2

ハイライト

小暑・初候7月7～11日「温風至 おんぷう いたる」梅雨明け頃に吹く南風のこと。全体では、暖かい風が吹いてくる頃という意味になる。梅雨の湿気も後を引いて、蒸し暑くなっていく時期でもある。旧暦の7月7日に行われる年中行事を七夕という。



牽牛星？水滴 牛の背中に乗り笛を吹く男が。

う。笹飾りをつけ、短冊に願い事を書いて祝うもので、中国に由来し、本来は農耕儀礼に結びついた祖霊祭だった。それがいつしか牽牛星と機織星の伝説、女性の針仕事の上達を願う祭、仏教の盂蘭盆会などと合わさったうえで日本に伝えられた。日本でもさまざまな伝統儀礼と合わさり、現在の形となった。7月7日になれば思い出す、わが家に先代の黒猫キキがやせ細ってフラフラ来たことを「親父の命日に喪服を着て来てくれたの？」わが家が猫を飼い始めた日が七夕。そのキキも星になってしまった・・・

3 ジャガイモ掘り

梅雨の長雨合間をぬって、毎年恒例の家族ジャガイモ掘りに来た。食育ではないがカカの発案、一家族に一畝づつキタアカリを用意。長雨でサラサラ砂遊びとはならなかったが、一組目は無事終了。後継者育成の含みがあったり?して。



07.07子を
一輪車に乗せ
畑へ↑掘っ
たヨ!ジャガ
イモノ横一
列に芋掘り開
始→「ちゃん
と土を落とし
てネ食べるん
だから」と教
えてるのかナ
芋好きに拍手

←07.07カラスか? トウモ
ロコシが食い荒らされたの
でネット張り

パイプフレーム立てて防
鳥ネットを張り ↑終わる



←07.07アンデスレ
ッドを掘る ↑茎を抜い
て付いてきた芋、良く
できた株、ジャガイモ
は小粒で数も少ない。

アンデスレッド・キタアカリ・十勝こが
ね、夕方カカが掘ったジャガイモです。

一疋大
豆の発
芽して
いない
箇所に
種大豆
を蒔き
直す一
粒一粒



5 七月のお味

六月に続いて梅仕事、漬けあがった梅シロップを瓶詰めにした、冷凍しておいた梅でジャムを作ったりとカカは大忙し。梅シロップの残り梅は捨てています。梅ジャム作りに手間がかかり過ぎたので、トトのオヤツに一瓶だけ残して。



↑梅シロップ漬タルから濾し網に入れ、梅とシロップを煮分け、シロップを煮沸させ、二度目の濾しながら瓶詰め。←飲み方レシピのラベルを貼ってラッピング「梅シロップの出来上がり。↓砂糖漬梅はジャムにする手間が大変なので、捨てています。

完熟梅を冷凍してから煮て、皮を剥きやすく種も取り、網でキレイに濾し煮詰めます ←瓶詰にしてラベルを貼ってラッピング「完熟梅ジャム」酸味の好きな方にお勧めです。



4 田口勝の個展へ行く



←二度目の美術館「草間彌生」の水玉あふれる松本市美術館へ、バタバタ忙しく脇目も振らず「田口勝」個展へカカトト直行!! 松本へ来たのに...

招待状をいただき、行か否か...行かないと後悔するだろうと、懐かしい田口さんに会いに行った。



英国の田園を描く
MASAHARU UCHIYAMA
画/田口勝
2019.7.2(金)~7(日)
9:00~17:00(最終日は16:00まで) 入場無料
松本市美術館(2F 多目的ホール)
小学生時代から絵は好きでした。中学時代初めて油絵を描き、高校では、水粉画を教えたいただきました。その時に専門の先生が知り、幸せでした。市役所生活の中でも松本の風景など描き、雨景3巻、遊戯帳、市民タイムス社での毎月シリーズで1冊を出版した経緯があります。今回は、遊戯帳前巻4冊の複製発行での記録を残したものです。違った角度でお楽しみください。そして、別荘文化センターでの生徒さんたちの作品も是非ご覧ください。

田口さんが松本なわて通り「ギャラリー街角」を催していた頃からのファン、消えゆく街角の古い店舗や民家、工場などの建物の絵が好きで買い求め、お宿などで展示。「懐かしい人には会っておかないと」トトも、そのような歳になりました。